

1 議 事 日 程

〔平成23年太宰府市議会 予算特別委員会〕

平成23年2月24日

午前 11 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第21号 平成23年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第22号 平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第23号 平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第4 議案第24号 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第25号 平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第26号 平成23年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第7 議案第27号 平成23年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（19名）

委員長	清水 章 一 議員	副委員長	安 部 陽 議員
委員	原 田 久美子 議員	委員	藤 井 雅 之 議員
〃	長谷川 公 成 議員	〃	渡 邊 美 穂 議員
〃	後 藤 邦 晴 議員	〃	橋 本 健 議員
〃	中 林 宗 樹 議員	〃	門 田 直 樹 議員
〃	小 柳 道 枝 議員	〃	安 部 啓 治 議員
〃	大 田 勝 義 議員	〃	佐 伯 修 議員
〃	村 山 弘 行 議員	〃	田 川 武 茂 議員
〃	福 廣 和 美 議員	〃	武 藤 哲 志 議員
〃	不 老 光 幸 議員		

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（18名）

市 長	井 上 保 廣	副 市 長	平 島 鉄 信
教 育 長	關 敏 治	総 務 部 長	木 村 甚 治
協働のまち 推進担当部長	三 笠 哲 生	市民生活部長	和 田 有 司
健康福祉部長	和 田 敏 信	建設経済部長	齋 藤 廣 之
会計管理者併 上下水道部長	宮 原 勝 美	教 育 部 長	山 田 純 裕
総 務 課 長	大 薮 勝 一	経営企画課長	今 泉 憲 治
市 民 課 長	原 野 敏 彦	福 祉 課 長	宮 原 仁
都市整備課長	神 原 稔	上下水道課長	松 本 芳 生
教 務 課 長	木 村 裕 子	監査委員事務局長	関 啓 子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 田 中 利 雄

議 事 課 長 櫻 井 三 郎

書 記 茂 田 和 紀

開会 午前11時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（清水章一委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月14日及び15日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第21号 平成23年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（清水章一委員） 日程第1、議案第21号「平成23年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（木村甚治） それでは、議案第21号「平成23年度太宰府市一般会計予算について」ご説明いたします。

平成23年度につきましては、先ほど市長の提案理由でも申し上げましたけども、本年が統一地方選挙の年に当たりますことから、新規事業や政策的事業を除いた骨格予算として編成をいたしております。編成に当たっての基本的な考え方も、先ほど市長が述べましたように、制度の施策等の見直しを行うなど、経費全般について節減、合理化を図りまして、限られた財源の有効活用に努めてきたところでございます。

それでは、お手元にお配りしております当初予算説明資料をお届けしておと思います。それに沿ってご説明をさせていただきます。

まず、予算説明資料をあけたところの1ページでございます。

予算総括表を載せております。

表の最上段の一般会計でございます。よろしゅうございましょうか。表の一番最上段の一般会計予算でございますが、総額は207億2,687万1,000円となっております。前年度と比較いたしますと、8億1,641万3,000円増額となっております、率で4.1%の増となっております。それ以下は、特別会計等の行となっております。

また、表の下に米印で骨格予算である旨の表記をいたしております。

政策的経費で約1億円ほどを当初予算には計上いたしておりませんので、それを考慮しますと前年よりも4.6%程度の増となる予定となっております。また、詳細は追ってご説明いたします。

次に、2ページでございます。2ページで、歳入関係についてご説明をいたします。

まず、1款の市税でございます。総額75億4,368万5,000円を計上いたしております。前年度と比較いたしますと、2億3,914万6,000円、3.1%の減ということになっております。備考欄に書いておりますように、ちょっと5ページのほうをごらんいただいでですね、市税の説明をしたいと思います。5ページでございます。

ここで、5ページのほうの表で市税を再掲しておりますが、不況の影響等によりまして給与所得の減少により個人市民税は前年度予算より1億7,174万7,000円、5.1%の減、法人市民税も昨今の経済状況を反映して3,745万6,000円、8.1%の減と見込んでおります。なお、固定資産等のことについてですが、この表の下にやはり米印で表記をいたしておりますが、固定資産税は平成22年度に比較いたしますと、本来は1.1%程度の増が見込まれておりますが、骨格予算として財源調整といたしまして1億円を減額して計上いたしております。当初予算としては、この表に書いておりますように6,522万1,000円の減としておりますが、本来であればもう少しですね、3,400万円ほどの増という予定でしております。1億円を減額して6月補正等の、次の政策補正財源として控除いたしております。

あと、以下、ほかの税金についてはこのような状況でございます。

また、2ページのほうに戻っていただければと思います。

今、1款の地方税を説明いたしましたが、あとずっといろんな交付金等このような状況で、10款の地方交付税でございますが、これは16.6%増の35億9,400万円と、昨年よりも5億1,082万9,000円の増を見込んでおります。これは、国の地方財政計画におきまして地方交付税の増加を見通されておりますほか、逆に平成23年度は本市の市税収入が減の見通しということから、その結果、それを補てんする交付税の増ということを見込んでおるところでございます。

次に、14款の国庫支出金の状況でございます。これは、昨年よりも7億8,210万7,000円という23.7%と大幅に増加をいたしております。これは、子ども手当や生活保護費の増加の影響によるものでございます。

次に、18款の繰入金、これは、10.1%増の2億3,679万6,000円と、前年度よりも2,168万円増加いたしておりますが、今年度も昨年同様、当初予算では財源不足の補てんとしての財政調整資金の繰り入れは行っておりません。したがって、財政調整資金の残高は、平成22年度末では約18億円となる見込みでございます。

次に、19款の繰越金でございますが、昨年は予算項目の計上ということで1,000円だけの予算計上でございましたが、今回は8,670万円を計上いたしております。前年度からの繰越分で8,670万円を計上いたしております。そういうことから、ここの伸び率等で、ちょっと漢字で書いておりますが、パーセント表示ではなくて、例えば財政用語でございまして、0からすべての金額がぼんと出てきた場合は皆増、皆増というような言葉がございます。それに準じたという形で、準皆増という財政用語で、パーセントではなくて漢字で表示をいたしております。

次に、21款の市債でございますけれども、ここも11.7%減の19億3,520万円で、昨年よりも2億5,740万円減少いたしております。減少の主な理由といたしましては、道路整備のための地域再生基盤強化事業債と交付税の補てんとしての臨時財政対策債が減ったということでございます。

また、市債の主なものといたしましては、史跡地の公有化事業債7億円、臨時財政対策債が

10億4,270万円、その他、緑地公有化事業、地域再生基盤強化事業、公園改良事業などで借入れを予定をいたしております。

なお、平成23年度末の市債残高は、昨年 of 平成22年度末見込み額より約5億7,000万円減少としておりまして、201億7,000万円程度見込んでおります。詳細はですね、予算書の248ページに載せておりますので、後ほどごらんいただければと思います。

次に、資料の3ページから4ページにつきましては、自主財源の状況、そして依存財源の構成比を示しておりますが、子ども手当や生活保護費の国庫支出金及び地方交付税の増の影響などによりまして、依存財源が8.5%増加したという結果となっております。

次、4ページについては、歳入予算のグラフ等で表示をいたしております。

次の5ページは、先ほどご説明いたしました市税の再掲でございます。

あと、歳出についてでございますが、6ページでは、各款の状況でございます。見ていただくように、3款の民生費が大きく増加しておりまして、この中で12億円ほど増加しておりますが、生活保護費関係で7億3,942万円の増加、子ども手当で3億9,414万円の増となっております。この辺の増で本来骨格予算ということで昨年から比して、大体減っていくような状況でもあるんですが、結果的に骨格予算でありながら昨年度よりも伸びたというようなことでございます。

詳しくは、次の8ページのほうでですね、性質別内訳でご説明をいたします。

義務的経費で、上の3行が義務的経費でございますが、人件費については本来は減っていくんですが、ご存じのとおり議員共済組合負担金が今年度は大幅に追加負担というような形で増えておりますので、そういうことから議員定数の減でありますとか、職員給与の減、国勢調査の終了などによる減を補ってもまだ前年度に比べて減り幅がですね、930万円の減ということでしかございませんでした。

また、扶助費は、先ほど言いましたように、子ども手当や生活保護費及び児童扶養手当の伸びなどによりまして、11億3,937万3,000円の大幅に増となっております。

そして、公債費は、3,147万8,000円、1.1%の減で計上いたしております。

したがいまして、人件費、扶助費、公債費の義務的経費の総額では10億9,859万5,000円の大幅な増加となっております。先ほど言いましたように、本年度予算が増加した大きな要因となっておりますのでございます。

次に、物件費でございますが、3億3,817万1,000円増加をいたしております。主な要因といたしましては、予防接種個別接種委託料でございますとか、私立の保育所運営委託料の増のほか、小・中学校の特別支援学級支援員を増員したことなどによるものでございます。

補助費等は、私立保育所の創設補助金、消防組合負担金及び下水道事業会計補助金が減ったことによりまして2億792万7,000円の減となっております。

次に、その下の普通建設事業費につきましては、国庫等の採択を受けております地域再生基盤強化事業が最終年度となり事業量が減少しましたことと、平成22年度事業の内山のトイレ工

事でありますとか、駅のバリアフリー工事及びいきいき情報センターの省エネ改修工事などが終了いたしましたので、4億5,394万円の減となっております。

最後に、繰出金につきましては、老人保健特別会計繰出金は、後期高齢者医療制度へ移行したことによりまして終了いたしました。介護保険事業の特別会計繰出金、また後期高齢者医療特別会計繰出金が増加いたしましたために、繰出金としては7,875万6,000円の増となっております。

簡単でございますが、歳出については以上となっております。あと、新規事業や政策的事業で当初予算に計上していない項目につきましては、6月の定例議会におきましてまた計上をさせていただきたいと思っておりますので、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。私の説明、簡単ですが終わらせていただきます。

以上です。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第22号 平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第2、議案第22号「平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（和田敏信） 平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について、ご説明を申し上げます。

予算書は249ページからでございます。

歳入歳出予算総額は69億2,649万3,000円と、前年度当初予算額に比べまして2億8,494万円、4.29%の増となっております。

255ページの事項別明細書をお開きいただければと思います。

まず、歳入でございますけれども、1款の国民健康保険税につきましては、景気の低迷によりまして非正規雇用者などの低所得者の増加や、そのことに伴います軽減措置などから、前年度より4,530万2,000円減の15億4,693万5,000円を計上しております。

2款国庫支出金は21億1,215万4,000円で、療養給付費などの増加に伴い、前年度より2億7,300万5,000円の増となっております。

4款前期高齢者交付金は、65歳以上75歳未満の前期高齢者の医療費を被用者保険と財政調整を行い交付を受けるものでございますが、平成21年度交付額の精算分を見込み、前年度より9,026万円減の14億609万1,000円となっております。

次に、256ページの歳出でございます。

本会計の約7割を占めます2款保険給付費につきましては、高齢化や医療技術の進歩に伴い、前年度より1億6,682万9,000円増の47億1,791万円を計上しております。

3款の後期高齢者支援金等は、後期高齢者の医療費の現役世代の負担金でございますが、医

療費が増嵩しておりますので、前年度より2,194万1,000円増の7億7,165万7,000円となっております。

5 款老人保健拠出金は、過年度の清算分のみ支払いとなりますことから、前年度から1,444万8,000円減の155万2,000円となっております。

7 款共同事業拠出金につきましては、高額医療費に対して保険者間の財政負担の平準化を図るための拠出金ですが、医療技術の進歩に伴い、拠出金も年々増加しておりまして、前年度から9,986万3,000円増の8億9,407万4,000円を計上しております。

国民保険制度は、中高年齢者、非正規雇用者など低所得者層を多く加入対象としているという構造的な課題を抱え、国保加入者の高齢化や医療技術の進歩に伴う医療費の増加も相まって、依然として厳しい財政状況が続いておりますが、平成20年度に施行された高齢者医療制度について、さらにそのあり方を見直す議論が行われておりますので、国の動向を注視しながら、国民健康保険制度が安定的に運営できるように努めてまいります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第23号 平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第3、議案第23号「平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（和田敏信） 平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について、ご説明申し上げます。

予算書は291ページからでございます。

歳入歳出予算総額は8億8,977万3,000円と、前年度当初予算額に比べまして4,798万5,000円、率にして5.1%の減となっております。

294ページをお開き願います。

まず、歳入でございますが、1 款の保険料につきましては、前年度から4,904万8,000円減の7億3,377万5,000円を計上しております。平成22年度は、後期高齢者医療制度施行後初めて保険料が改定された年度でございまして、平成22年度予算編成時に福岡県後期高齢者医療広域連合で試算されました保険料で予算計上しておりましたが、その後国において急激な保険料の上昇を抑制するため、福岡県に設置しています財政安定化基金を活用できる法改正を行うなどによりまして、最終的に予算編成時の保険料から減少しております。最終改定後の保険料をもとに平成23年度保険料を計上しておりますことが、前年度からの減額となった要因でございます。

3 款繰入金は、保険料軽減額、事務費等を一般会計から繰り入れるものでございますが、前年度とほぼ同額の1億5,599万円を計上しております。

次に、歳出についてでございますが、1 款総務費、保険料や保険料軽減額など広域連合への拠出金が主な歳出予算となっておりますが、前年度から4,798万5,000円減の8億8,476万6,000円で計上しております。前年度から減額となっております理由といたしましては、歳入で説明いたしましたのと同様に、平成22年度予算は予算編成時の保険料などが最終的に減少していますことによるものでございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第24号 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第4、議案第24号「平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（和田敏信） 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について、ご説明申し上げます。

予算書は307ページからでございます。

最初に、保険事業勘定予算での総額39億3,742万9,000円で、前年度と比べまして7%、2億5,728万円の増となっております。

313ページの事項別明細書をお願いいたします。

歳入の主なものをご説明いたします。

1 款、65歳以上の第1号被保険者保険料は、本年度8億200万2,000円で、前年度と比べまして6.6%、4,985万2,000円の増額となっております。

2 款国庫支出金は7億8,418万9,000円で、5,117万4,000円の増でございます。

3 款支払基金交付金は、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料の交付金が主なものでございまして、7,580万3,000円を増額し、11億1,343万2,000円計上いたしております。

6 款繰入金は6億6,284万5,000円で、4,184万4,000円の増額でございます。

次に、歳出の主なものをご説明いたします。

314ページでございます。

1 款総務費は、第五次介護保険事業計画の策定委託料449万4,000円を含め538万6,000円を増額いたしまして、1億6,064万4,000円を計上いたしております。

2 款保険給付費は、2億5,637万4,000円を増額し、36億9,256万8,000円を計上いたしております。

3 款地域支援事業費は、484万8,000円を減額いたしまして、6,457万8,000円を計上いたしております。

4 款公債費は、平成12年度から平成14年度の第1期に借入れいたしました財政安定化基金償還元金として1,608万3,000円を計上いたしております。

次に、353ページ、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算でございます。

総額で2,160万円を計上しております。

356ページの歳入では、1款サービス収入に、ケアプラン作成費等で介護予防サービス計画費収入1,957万4,000円を計上いたしております。

358ページの歳出の主なものといたしましては、1款総務費に、嘱託職員賃金等2,155万3,000円を計上いたしております。

以上が主な内容でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第25号 平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第5、議案第25号「平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（和田有司） 議案第25号「平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書では361ページから372ページをご参照いただきたいと思います。

まず、平成23年度歳入歳出予算でございますが、予算書では362ページになります。この額につきましては、総額217万8,000円で、対前年度比26.8%の減、金額では79万6,000円の減となっております。

予算総額が減額となりました主な要因は、歳出における公債費で一部償還が完了したことなどにより、公債費元金で32万9,000円、予算書のページでは370ページということになります。減少したことが主な理由でございます。

また、歳入の住宅新築資金等補助金では、公債費の償還元金が減少したことに伴い、38万8,000円の減額、予算書では366ページでございます。

さらに、返済完了による返済対象者の減少により、償還金を51万4,000円減額いたしております。予算書では、368ページの一番下に51万4,000円の減額ということで表示をいたしております。

なお、貸付金の償還向上につきましては、夜間を含めまして精力的に家庭訪問などを行いまして、償還の促進と滞納対策を図ってまいります。

以上、よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 議案第26号 平成23年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第6、議案第26号「平成23年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（宮原勝美） 青い水道事業会計予算書でございます。

平成23年度太宰府市水道事業会計予算について、その概要をご説明申し上げます。

予算書1ページの業務の予定量につきましては、本会議での市長の提案理由説明と重複いたしますので、4ページの事項別明細書から、その主なものについてご説明申し上げます。

4ページをお開きください。

まず、予算第3条の収益的収支の水道事業収益でございますが、前年度より4,842万5,000円、4%増の12億4,676万7,000円とし、これに対しまして費用のほう、5ページの一番上でございます。水道事業費用につきましては、2,807万6,000円、2.4%増の12億635万円を予定いたしております。

これによりまして、恐れ入ります、20ページをお開きください。20ページの平成23年度水道事業予定損益計算書でございますが、これの下から3行目、平成23年度は2,188万5,000円の純利益を予定しております。

もう一度、4ページのほうにお戻りいただきます。

収入のほうの根幹をなします1款1項1目の給水収益でございますけど、前年度からの伸び率、それから昨年10月の減額料金改定を行いました分、それと平成23年度がうるう年、366日に当たりますことなどを加味いたしまして、前年度より2,128万2,000円、1.9%増の11億1,292万円を予定いたしております。

次に、2項営業外収益の2目受託工事収益でございますが、これは第六次拡張事業の西鉄踏切横断工事につきまして、筑紫ガスの負担分3,000万円を受託工事収益として計上いたしております。

また、支出におきましても、営業外費用に同額を計上いたしております。

次に、2項3目の加入負担金でございますが、これも昨年10月から水道普及率向上対策の一環といたしまして、3年間の期限つきで近隣団体並みに引き下げたところでございます。この引き下げによります減少、及びこれまでの件数の伸びなどを勘案いたしまして、前年度より18.9%減の4,313万3,000円を見込んでおります。

次に、5ページの費用のほうでございますが、1款1項の営業費用につきましては、11億2,453万1,000円、前年度に比べまして509万5,000円の減を見込んでおります。この主な要因といたしましては、大佐野、松川2つの浄水場における活性炭取替作業委託料の減、4目の業務費で料金システムの更新に伴います電算機等賃借料の増、それと平成23年度中に予定しておりますコンビニ収納手数料を今回計上いたしております。及び、その職員変動に伴います人件費の増などが主なものでございます。

8 ページをお開きください。

8 ページの 2 項営業外費用につきましては、6,984 万 8,000 円で、前年度より 2,780 万円、66.1%増加しております。これは、先ほど営業外収益のほうで説明申し上げました 2 目の受託工事費が主なものとなっております。

9 ページ、第 3 項の特別損失でございますが、前年度より 537 万 1,000 円増加しておりますけれども、これは、平成 17 年度に実施しました大佐野浄水場配水池の耐震調査の結果、耐震補強工事などの必要はないとの診断を得ておりましたので、法定 5 年を経過したことで、その耐震診断委託費 520 万円を除却処分することが主な要因でございます。

次に、10 ページをお開きください。

10 ページの 4 条予算の資本的収支でございます。

資本的収入のほうは、収入総額を 2 億 8,300 万 5,000 円とし、前年度より 9,442 万 6,000 円減少いたしております。これは、松川配水池の移設工事に係る県の負担金及び太宰府市の水道管布設替工事負担金の減が主なものでございます。

11 ページの一番上でございます。資本的支出の総額は 10 億 1,076 万 7,000 円で、前年度より 2,338 万 7,000 円の増となっております。

3 目の配水施設費の工事請負費の欄になりますが、平成 23 年度は第六次拡張事業と国分台地区の配水管新設工事、都府楼団地、高雄台地区などの配水管布設替工事、それと平成 23 年度から 2 カ年の継続事業で行います配水施設整備工事、つまり県道拡幅による松川 3 号配水池の移設工事でございます。それにテレメーターの更新工事を予定いたしております。

また、一番下の企業債償還金でございますが、9,279 万 6,000 円で、187 万 5,000 円減少いたしております。

以上で概要説明を終わらせていただきますけど、12 ページに資金計画、13 ページから 15 ページまでの給与費明細書、16 ページに継続費に関する調書、17 ページに債務負担行為に関する調書、18 ページ以降に予定損益計算書及び予定貸借対照表をつけております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 7 議案第 27 号 平成 23 年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第 7、議案第 27 号「平成 23 年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について、説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（宮原勝美） 平成 23 年度太宰府市下水道事業会計予算について、その概要をご説明申し上げます。

市長の提案理由説明に重複する部分につきましては割愛させていただきまして、4ページの事項別明細書から、その主なものについてご説明申し上げます。

まず、予算第3条の収益的収支でございますが、下水道事業収益につきましては、前年度より2,657万5,000円、1.3%増の16億7,702万円とし、5ページの一番上でございます、これに對しまして、下水道事業費用につきましては、1,358万5,000円、1%減の13億7,914万円を予定いたしております。これによりまして、平成23年度の純利益といたしましては、18ページの予定損益計算書につけておりますが、18ページの下から3行目でございます、平成23年度は2億8,630万6,000円の純利益を見込んでおります。

戻っていただきまして、4ページ、1款1項1目の下水道使用料につきましては、前年度からの伸び率及び平成23年度がうるう年に当たることなどを加味いたしまして、1,430万円、1.2%増の12億19万3,000円を予定いたしております。

2項の営業外収益につきましては、2目の他会計補助金が主な収入となっております、前年度より1,396万7,000円の増となっております。

5ページの支出のほうでございますが、1項営業費用は10億4,663万2,000円で、前年度より1,986万4,000円、1.9%の増を見込んでおります。これは、3目の業務費が前年度より985万6,000円、16.1%増加しております、職員変動に伴います人件費の増及び水道事業の徴収事務委託料の増が主なものとなっております。

6ページの6目でございます。

6ページの一番下でございますが、6目の資産減耗費500万円につきましては、奥園雨水幹線築造工事に伴う污水管等の除却費を計上いたしております。

次に、7ページの2項営業外費用は、3億2,150万8,000円で、前年度より3,604万7,000円、10.1%減少しております。これは、企業債支払利息及び消費税などの減によるものでございます。

次に、8ページ、お開きください。

予算第4条の資本的収支でございますが、まず収入総額は10億2,510万5,000円で、前年度より2億4,859万円、32.0%の増となっております。

この主なものといたしましては、5項の他会計補助金は減少しておりますが、建設改良費の財源となります1項の企業債及び2項の国庫補助金の増加によるものでございます。

9ページの資本的支出のほうでございますが、支出総額を18億816万9,000円とし、前年度より4億583万6,000円、28.9%の増となっております。

平成23年度の建設改良事業でございますが、北谷及び内山地区の污水管整備を推進するとともに、馬場、秋山、湯の谷、五条地区の雨水浸水対策として、本年度から3カ年計画で奥園雨水幹線築造工事に着手してまいります。

10ページをお開きください。

10ページの企業債償還金につきましては、前年度より3,940万円増の10億9,878万円となって

おりますが、平成25年度に償還のピークを迎えまして、それ以降は減少してまいります。

以上で概要説明を終わらせていただきます。

11ページ以降に資金計画書、給与費明細書、債務負担行為に関する調書、予定損益計算書並びに予定貸借対照表を添付しております。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

以上をもちまして各会計の概要説明は終わりました。

次回は、3月14日月曜日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（清水章一委員） これをもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午前11時38分

~~~~~ ○ ~~~~~